

# 平成 25 年度

## 第 1 回江戸川区子ども・子育て応援会議

### 議 事 要 旨

---

日 時 平成 25 年 9 月 20 日 (金) 午前 10 時から 11 時 30 分まで

場 所 グリーンパレス 常盤

#### 【議事次第】

- 1 開 会
- 2 子ども家庭部長あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 委員委嘱・自己紹介
  - (2) 子ども・子育て支援新制度について
  - (3) 子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について
  - (4) その他
- 4 閉 会

#### 【配布資料】

- 江戸川区子ども・子育て応援会議 委員名簿
- 江戸川区子ども・子育て応援会議設置要綱
- 平成 25 年度 第 1 回子ども・子育て応援会議 次第
- 資料 1 江戸川区子ども・子育て応援会議
- 資料 2 子ども・子育て関連 3 法の概要
- 資料 3 子ども・子育て支援法に基づく基本指針(案)
- 資料 4 おしえて！子ども・子育て支援新制度
- 資料 5 「江戸川区子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査」の概要(案)
- 資料 6 江戸川区次世代育成支援行動計画(後期計画)実績 平成 24 年度

平成 25 年度第 1 回江戸川区子ども・子育て応援会議 出欠状況

氏 名	所属機関・役職名	出 欠
三輪 建二	お茶の水女子大学教授 江戸川総合人生大学子ども・子育て応援学科学科長	出 席
田澤 茂	江戸川区私立幼稚園協会会長	出 席
秋山 秀阿	江戸川区認可私立保育園園長会会長	代理出席：福井徹人 (江戸川区認可私立保育園園長会副会長)
清澤 好美	江戸川区立小学校長会副会長	出 席
蓮沼 千秋	江戸川区立中学校長会会長	出 席
半田 直子	保育ママの会元会長	出 席
澤井 廣喜	江戸川区認証保育所連絡会共同代表	出 席
上松 憲一	共育プラザ館長会幹事・共育プラザ南小岩館長	欠 席
田中 稔家	江戸川区青少年育成地区委員長会会長	出 席
宮本 道子	江戸川区青少年委員会会長	欠 席
山本 又三	青少年育成アドバイザー	出 席
大門 美子	江戸川区私立幼稚園協会 PTA 連合会会長	出 席
池田 絵里	江戸川区認可私立保育園保護者連絡協議会理事長	出 席
宇田川公一	江戸川区立小学校 PTA 連合協議会会長	出 席
関口 光治	江戸川区立中学校 PTA 連合協議会会長	出 席
大澤 孝	江戸川区立幼稚園 PTA 連合会会長	出 席
山田 智子	江戸川区立保育園保護者代表	出 席
寺原 純子	保育ママ利用者代表	出 席
本田 由香	認証保育所利用者代表	出 席
平田 善信	東京商工会議所江戸川支部会長	欠 席
宮城富美子	連合江戸川地区協議会	出 席
石部さよ子	民生・児童委員協議会 小松川第二地区副会長	出 席
千葉 友幸	江戸川区医師会理事	出 席
中島 信	江戸川区歯科医師会専務理事	出 席
岩楯 松江	公募区民	出 席
仁志川明美	公募区民	出 席
窪田 龍一	区議会議員	出 席
大西 洋平	区議会議員	出 席
松尾 広澄	健 康 部 長	出 席
柴田 靖弘	教育推進課長	出 席
高原 伸文	子ども家庭部長	出 席

委員長

副委員長

## 議事要旨

### 1 開会

(事務局) それでは平成 25 年度第 1 回江戸川区子ども・子育て応援会議を開会します。新たな任期での最初の会議のため、委員長が就任されるまで進行させていただきます、子ども家庭部子育て支援課計画係長の今澤と申します。また事務局として子育て支援課長、保育課長、子育て支援課の担当職員が出席しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは子ども家庭部長よりあいさつをさせていただきます。

### 2 子ども家庭部長あいさつ

(子ども家庭部長) 子ども家庭部長高原です。昨年 8 月、子ども・子育て関連 3 法が公布され、新制度が早ければ平成 27 年 4 月施行となります。消費税増税で確保される財源を使い、地域の実状に応じた子育て支援の充実などを図っていくこととなります。新制度の施行に向けて江戸川区としても、子育て当事者や関係者の方々のニーズにしっかり応えていけるような仕組みを作っていくことが必要です。具体的な制度設計や事業計画の策定について、幅広く議論し提言していただくことがこの会議の趣旨だと考えております。子どもたちの健やかな成長と子育てを支える地域社会づくりを目指すことを、この会議の共通の理念として、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 3 議事

#### (1) 委員委嘱・自己紹介

(事務局) 続きまして委員長の選任に入らせていただきます。委員長は設置要綱に基づきまして、委員の互選により選出することとなりますがいかがでしょうか。

(田澤委員) 三輪先生にお願いしたいと思います。

(事務局) 三輪先生にお願いしたいというご発言がありましたが、皆様いかがでしょうか。

(一同) 拍手

(事務局) 皆様ありがとうございます。それでは、委員長は三輪委員に務めていただきます。それでは委員長、席を移っていただき、ごあいさつをお願いします。

(三輪委員長) 三輪です。いろいろな意見が出る会議にしたいと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。ではこの後は委員長に会議を進めていただきたいと思います。

(三輪委員長) それではまず、副委員長を選任させていただきます。副委員長は私が指名してよいということなので、前回に引き続き青少年育成地区委員長会長の田中委員にお願いしたいと思いますが、皆さん異議はありませんでしょうか。

(一同) 拍手

- (三輪委員長) では、副委員長は田中委員にお願いするということで、こちらの席にお願いします。また、ごあいさつをお願いします。
- (田中副委員長) 青少年育成地区委員長会の田中と申します。大変重い役割であり、一生懸命やらなければという思いです。地域の中で子どもたちをどう育てるか、そのことを議題に掲げられればと思っております。どうぞよろしくをお願いします。
- (三輪委員長) ありがとうございます。それでは次に会議の運営について確認をしたいと思えます。会議の公開についてですが、昨年度まで会議自体は公開せず、議事要旨をホームページで公表するかたちで開催していました。昨今の状況を見ますと、このような会議は透明性を高めるという意味で、公開で傍聴を入れて開催することが多いようです。また、子育て支援という関心の高いテーマについて考えていく会議ですので、今期は傍聴を認める方向が自然であると思えますが、いかがでしょうか。
- (一 同) 拍手
- (三輪委員長) それでは事務局として公開についての考えがあればお示してください。
- (事務局) 子育て支援課長の岩瀬です。どうぞよろしくお願いいたします。公開についてですが、次回の会議から事前に会議の開催をホームページで周知し、傍聴の申し込みをしていただくという形を考えております。また、傍聴人数は会場によりますが、5~10名を考えております。会議は原則公開ですが、議事によっては会議体の判断により非公開とすることも考えております。また発言趣旨を損なわない範囲で議事要旨を作成し、ホームページで公表していきたいと思えます。
- (三輪委員長) 今の意見に対し、何かご質問やご意見等はございますか。では特に異論はないようですので、次回の会議より傍聴人を入れるかたちで行っていきたくと思えます。また議事要旨の作成や公表も行っていたいただければと思えます。それでは議事に入らせていただきます。今回は新しい委員での初回ですので、委員の皆様にご自己紹介をしていただきたいと思います。
- (窪田委員) 区議会から新しく2名の参加をさせていただいております。福祉健康委員会委員長を務めさせていただいております窪田龍一です。よろしく申し上げます。
- (大西委員) 同じく福祉健康委員会副委員長をしております区議会委員の大西洋平と申します。どうぞよろしく申し上げます。
- (田澤委員) 江戸川区私立幼稚園協会会長の田澤と申します。よろしく申し上げます。
- (福井委員) 本日代理で参りました江戸川区認可私立保育園園長会副会長の福井徹人と申します。どうぞよろしく申し上げます。
- (半田委員) 保育ママの会元会長の半田と申します。保育ママは世界に誇れる制度だと思っております。これからもがんばりますのでどうぞよろしく申し上げます。
- (澤井委員) 江戸川区認証保育所連絡会代表の澤井でございます。よろしく申し上げます。
- (石部委員) 民生・児童委員協議会の石部さよ子でございます。初めてですが勉強させていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

- (山本委員) 青少年育成アドバイザーの山本です。よろしくお願いします。
- (岩楯委員) 公募区民として参加させていただきます岩楯松江と申します。よろしくお願いします。
- (仁志川委員) 同じく公募区民として参加させていただきます仁志川明美と申します。よろしくお願いします。
- (宮城委員) 連合江戸川地区協議会から参りました宮城と申します。初めての会議ですので何もわからず、子育てもとっくに済んでおりまして戸惑っておりますが、どうぞよろしくお願いします。
- (清澤委員) 73校を代表しまして、区立小学校長会副会長でございます、小松川小学校校長の清澤好美と申します。区立幼稚園も併設しておりますので、園長も兼ねております。よろしくお願いします。
- (蓮沼委員) 区立中学校長会会長の小岩第三中学校の蓮沼です。昨日修学旅行から戻って参りました。嵐山渡月橋は台風で大変でした。
- (松尾委員) 江戸川区健康部長の松尾です。どうぞよろしくお願いします。皆様方には日頃から健康行政含め、様々な形でご尽力ご協力をいただいております。この場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございます。
- (柴田委員) 教育委員会事務局教育推進課長の柴田です。私も今回が初めての参加となります。どうぞよろしくお願いします。
- (本田委員) 若葉インターナショナル幼保園から来ました本田と申します。よろしくお願いいたします。
- (寺原委員) 保育ママのところで孫がお世話になっております寺原と申します。よろしくお願いします。
- (山田委員) 区立保育園保護者の代表の山田です。よろしくお願いします。
- (関口委員) 33の中学校の代表ということでPTA 連合協議会から来ました西葛西中学校の関口です。子どもたちに何ができるか皆さんと考えていきたいと思っております。よろしくお願いします。
- (宇田川委員) 73の小学校の代表としましてPTA 連合協議会長の宇田川と申します。現在、瑞江小学校のPTA 会長を務めております。PTAの会員は子育て真っ最中ということで、この会議が少しでも参考となればと思っております。よろしくお願いします。
- (大澤委員) 今回初めての参加となります区立幼稚園 PTA 連合会会長の澤と申します。所属は船堀幼稚園ですが、子どもは小学生と中学生です。よろしくお願いします。
- (池田委員) 池田と申します。私立保育園保護者連絡協議会で理事長をしております。よろしくお願いします。
- (大門委員) 私立幼稚園協会 PTA 連合会会長を務めさせていただきます大門と申します。初めての参加ですのでよろしくお願いします。
- (中島委員) おはようございます。江戸川区歯科医師会で専務理事をしております中島と申します。現在 56 歳、子育ては終了しております、まもなく孫を育てる

段取りとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

(千葉委員) 江戸川区医師会理事の千葉と申します。還暦で孫が4人おります。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 子ども・子育て支援新制度について

(三輪委員長) ありがとうございます。それでは次の議事に入らせていただきます。事務局より資料の説明をお願いいたします。

資料説明(資料1~5)

(三輪委員長) まずは資料1から資料4の子ども・子育て支援新制度についてから入りたいと思います。何かご質問はありますでしょうか。

(3) 子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について

(三輪委員長) 質問がなければ資料5のニーズ調査にすすみたいと思います。何か質問やご意見はありますでしょうか。

(田澤委員) 2点ございます。5ページに定期的な保育サービスとありますが、私どもはサービスではなく幼児教育としております。また資料3の子ども・子育て支援法に基づく基本指針にも教育・保育という言葉で示されております。どうか保育サービスという言葉だけではなく、教育・保育に置き換えていただきたいと思います。幼稚園の通常の利用時間はサービスとは考えておりません。もう1点は12ページの子育てひろばの利用についてですが、私ども私立幼稚園や保育園でも実施しておりますので、どうかこの部分も選択肢に入れていただけないでしょうか。

(三輪委員長) 以上について、事務局から何かございますか。

(事務局) ご指摘はごもっともだと思いますので、5ページの保育サービスにつきましては教育・保育サービスにすべて訂正させていただきます。12ページについても、趣旨は江戸川区が実施している事業ということですが、区以外でも取り組まれているので、そういった状況を踏まえて選択肢を検討させていただきます。

(三輪委員長) 12ページは項目を増やしていくということでもいいでしょうか。

(事務局) はい、そのようにします。

(半田委員) ニーズ調査ということで無作為抽出をするということですが、対象者に偏りはないのでしょうか。

(事務局) 過去の調査の実績を踏まえ、このサンプル数であれば偏りの心配はないと考えております。

(半田委員) ありがとうございます。

(三輪委員長) 他に何かございませんか。

(池田委員) 3,000人とありますが、就学前の児童の母数はどのくらいでしょうか。

(事務局) 就学前の児童の母数は37,366人です。

(半田委員) 27年度に向けてニーズ調査をされるとのことですが、子育て支援の従事者

の意向とある程度合致するものがなければ、心地よく支援ができないのではないのでしょうか。

(仁志川委員) 私自身がニーズ調査の対象にあてはまるので、調査票に回答してみたのですが、内容が多く面倒と感じたので、もう少し簡易にできないかなと思います。また、より良い子育て環境をつくるのに必要な調査であることをアピールするようなお願い文を付け加えれば、面倒と思っても調査協力をするのではと思いました。また、調査対象者が10人に1人の割合であれば、ママ友との会話にもならず、調査票が届いても回答しなくてもいいのかなと思ってしまうので、もっと簡易な調査票にして、全員に配布したらどうかと思います。

(事務局) 調査票には趣旨や内容を説明した書類を1枚添えて配布します。サンプル数の変更は難しいのですが、設問内容については、かなり精査を行った上で作成したものですので、できれば回答していただきたいと思います。回収率を上げるため、しっかり務めてまいります。ホームページにも協力依頼を出させていただきます。

(三輪委員長) 他に何かございますか。

(田中副委員長) 就学前児童が対象ですが、たとえば13ページに就学後とありますが。

(事務局) これは青字で書かれていますように、国が必ず聞いてくださいという項目で、5歳以上の小学校入学前の方をお願いする項目です。小学校入学後、放課後をどこで過ごさせたいかという今後の希望ということで、就学後のお子さんを対象としているわけではありません。

(三輪委員長) 確認ですが、13ページは5歳以上のお子さんがいらっしゃる場合の質問として、国が必ず聞いてくださいという質問になっているということで、紛らわしいので、たとえば過ごし方の希望などと付け加えればいいのかと個人的には思いました。

(福井委員) 今回のニーズ調査はどの内容も非常に重要だと思いますが、8ページの定期的な保育サービスの利用希望は特に重要だと思っております。上段にサービスの利用料がありますが、もう少し精査して数字を出していただければと思います。そしてこの利用料の表は参考資料ですので、レイアウトとして上段に調査項目、下段に参考資料としたほうがよいと思います。支援事業計画は5年ごとに策定するというのですが、ニーズ調査も5年ごとなのでしょうか。

(事務局) こちらの利用料は自己負担額を示させていただきました。内容が粗い部分もありますので精査をさせていただき、表現もわかりやすくさせていただきます。レイアウトにつきましても考えさせていただきます。また、ニーズ調査が5年ごとにあるかということですが、その都度ニーズ調査を行い、状況を確認しながら必要なことを皆様に聞いていくというしくみになっております。

(仁志川委員) 問26ですが、働いている人はほとんど全部にをつけてしまうと思うので、優先順位をつけて考えさせないと、本当に重要なものがみえてこないのでは

と思うのですが。

- (事務局) 問26は平成21年の次世代育成支援行動計画の策定のための調査でも同じような質問をしています。回答にはバラつきが出ており、一番多かったのは同僚や上司の理解で88%、低いところで事業所内の保育施設の設置で50%でした。回答者としてのプライオリティが出てきていると感じております。
- (三輪委員長) 前回と同じ項目があるということは、比較もしたいということではないでしょうか。他に何かございますか。
- (山田委員) 夜間の一時的な保育サービスのニーズは多いのかなと思うのですが、延長保育を利用しても19時半までではお迎えが厳しいので。毎日ではないのですが21時や22時までみていただきたいという場合もあるのですが、そのようなニーズを調査することについてはいかがでしょうか？
- (事務局) 延長保育に関しては、国の会議でも議論されているところです。今回のニーズ調査においては、5ページの問11-2で定期的にご利用している保育サービスの希望日時をうかがい、延長保育に対するニーズをカバーしています。
- (山田委員) 定期的な延長保育ではなく、イレギュラーな事態へのニーズということです。もちろん定期的なものがあれば、お願いもしやすくいいのですが、たまたまその日だけ遅くなってしまった場合の対応があればいいと思っています。
- (事務局) 不定期な対応ということで問17と問18あたりで聞いていければと思います。
- (山田委員) イレギュラーな事態ほど対応が難しく、イレギュラーな事態の発生が避けられない私のような勤務形態の保護者の間では、いっそ夜間保育が充実している自治体へ引っ越そうかという話が出ることもあります。とは言え、ニーズとしては少ないと思うのでアンケート項目への追加は不要ですが、保護者代表としてそのようなニーズがあることはお伝えした方がいいと思い、発言させていただきました。
- (事務局) 事務局としての考えはお伝えさせていただきましたが、夜間保育のニーズについてご発言がありましたので、会議の中で必要性を議論していただければ事務局としてはありがたいです。
- (千葉委員) 子どもたちの養育環境は変わってきています。夜間保育についての議論も大事ですが、小児科医の考えからいえば、子どもの睡眠時間が短くなっており、大人の都合で子どもの養育環境に影響が出るということについて考えていけないといけないと思います。
- (池田委員) ニーズを把握するための調査という意味では、夜間保育についての項目を入れてもいいかと思います。もしくはこの調査とは別で保育園の保護者に夜間保育のニーズ調査を行ってもいいと思います。
- (三輪委員長) 今回はニーズ調査ということで、夜間保育のニーズをしっかりと把握して、その上でどう解釈していくかは、また議論していかないといけないと思います。
- (事務局) 委員長の言葉を受けまして、選択肢を検討させていただきます。
- (三輪委員長) ではよろしいでしょうか。これを踏まえてもう少し設問項目について考えていただきたいと思います。また、最終案については事務局と相談のうえ取り



まとめさせていただきますのでご了承ください。

( 4 ) その他

( 三輪委員長 ) それではその他ということで、何か質問などございませんか。

( 千葉委員 ) 会議の開催時間を考えていただければありがたいです。

( 事務局 ) 今後の予定ですが、資料1をご覧ください。次回開催は2月を予定しております。先ほどの千葉委員のご意見ですが、進捗状況を踏まえ委員長と相談しながら予定をお知らせしたいと思います。議題はニーズ調査の結果についてとそれを受けて子ども・子育て支援事業の量の見込みとさせていただきたいと思います。

( 千葉委員 ) 3,000人というのはサンプル数としては最低数だと思うのですが、回収率を6~7割と考えると、もう少し多めのサンプル数にすることは考えておられないのですか。

( 事務局 ) 前回は66%の回収率ということで、統計的にはこのサンプル数でも有効なデータを得られると考えております。

4 閉会

( 三輪委員長 ) それでは会議を終了させていただきたいと思います。長時間お疲れ様でした。